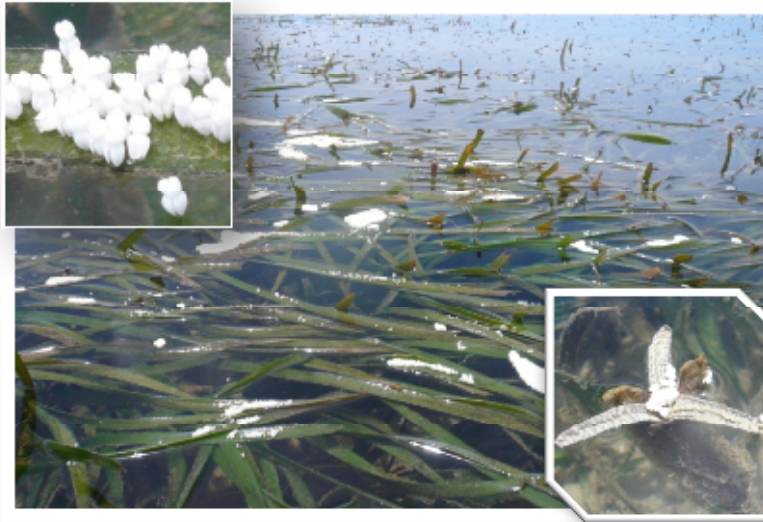


# ウミショウブ

げつめつきく  
絶滅危惧II



学名	Enhalus acoroides
科名	トチカガミ
別名	
区分	草本類
分布	おきなわ たいへいよう せいなん とうきョう 沖縄、太平洋、インド洋沿岸の ねったい ちいき 熱帯・亜熱帯地域

葉の形	せんけい 線形
葉の縁	なみがた 波形
葉の先	
葉の種類	
葉の付方	
葉の基部	
実の種類	
花・萼色	しろいろ 白色

せつ  
説  
めい  
明

入りえ あさ かいいてい すな うえ は た ねんせい そうほん  
入江の浅い海底の砂の上に生える多年性の草本で  
す。は じょう なが はば りようほう  
葉はリボン状で長さ 50-150 cm、幅 1-2 cm、両方  
の縁に太くて堅い脈があります。おぼな ほうしょう ようえき  
雄花の苞鞘は葉腋  
から出る長さ 5-10 cm の柄の上につきますが海面には  
で なが え うえ かいめん  
出ません。苞鞘の中には白色の雄花が数十個入って  
おり、開花時には海面に浮き上がります。しゅうい かぶ  
雌雄異株で、  
なつ おおしお ひ ちゅうしん かい か  
夏の大潮の日を中心に開花します。